

日本国とエジプトとの間の文化協定

昭和三年 三月二〇日カイロで署名
昭和三年 五月一五日国会承認
昭和三年 七月九日批准の内閣決定
昭和三年 七月一〇日批准書認証
昭和三年 七月一五日東京で批准書交換
昭和三年 七月一五日効力発生
昭和三年 七月一六日公布(条約第一三三号)

前文

日本国政府及びエジプト政府は、
両国間の文化関係を助長し、かつ、発展せようとする
共通の希望に動かされ、また、
両国間の関係と理解を助長し、かつ、深めることを
希望して、
文化協定を締結することに決定し、このため、次の
とおりそれぞれの全権委員を任命した。

日本国政府

エジプト駐在日本国特命全権大使 土田豊

エジプト政府

アラブ連合 文化協定

CULTURAL AGREEMENT BETWEEN JAPAN AND EGYPT

Signed at Cairo, March 20, 1957
Approved by the diet, May 15, 1957
Ratification decided by the cabinet, July 9, 1957
Attested, July 10, 1957
Ratifications exchanged Tokyo, July 15, 1957
Entered into force, July 15, 1957
Promulgated, July 16, 1957

The Government of Japan and the Government of Egypt,
Inspired by a common desire to promote and develop
the cultural relations between the two countries, and
Desirous of promoting and deepening the relations and
the understanding between the two countries,
Have decided to conclude a Cultural Agreement and
have appointed for this purpose as their respective Plenipotentiaries:

The Government of Japan:

Mr. Yutaka TSUCHIDA, Ambassador Extraordinary and
Plenipotentiary of Japan to Egypt,

The Government of Egypt:

外務副大臣 アブドル・ファッターフ・ハサン

これらの全権委員は、その全権委任状を示してそれが良好妥当であると認められた後、次の諸条を協定した。

第一条

(1) 両締約国は、特に次の諸手段により、相手国内において自国の文化が一層理解されるように、できる限りの便宜を相互に与えるものとする。

- (a) 書籍、定期刊行物、地図及び教材
 - (b) 講演、演奏会及び演劇
 - (c) 美術展覧会その他の文化的性質を有する展覧会
 - (d) ラジオその他類似の手段
 - (e) 文化的、科学的又は教育的性質を有する映画
- (2) 各締約国は、他方の締約国の文学的又は芸術的内容の著作物の翻訳又は複製を奨励するものとする。

第二条

両締約国は、教授、学者、学生、技術専門家並びに文化的、科学的及び教育的の機関の構成員の両国間に

Mr. Abdel Fattah HASSAN, Deputy Minister of Foreign Affairs,

Who, having communicated to each other their full powers, found to be in good and due form, have agreed upon the following articles:

ARTICLE 1.

1) The Contracting Parties will accord each other every possible facility so as to assure the better understanding of the culture of their respective country in the other country, especially by means of:

- (a) books, periodicals, maps and educational materials;
- (b) lectures, concerts and theatrical performances;
- (c) art exhibitions and other cultural exhibitions;
- (d) radio and other similar means; and
- (e) cultural, scientific or educational films.

2) Each Contracting Party will encourage the translation or reproduction of literary or artistic works of the other Contracting Party.

ARTICLE 2.

The Contracting Parties will encourage the exchange between them of professors, scholars, students, technical

便宜供与
事項

学者等の
交換

おける交換を奨励するものとする。

第三条

文化問題
を扱
う
講義
文化施設
の設立

各締約国は、自国の大学その他の教育又は研究の機関における他方の締約国の文化に関する問題を取り扱う講義の創設及び拡充を奨励するものとする。

第四条

文化施設
の設立

各締約国は、自国の領域内における他方の締約国の文化的、科学的又は教育的の機関の設立及び発展について、できる限りの便宜を与えるものとする。

第五条

奨学金

各締約国は、自国の領域内にある科学的、技術的及び工業的の機関において、他方の締約国の国民が、修学及び研究を行い、又は訓練を受けることができるように、これらの者に奨学金その他の便宜を与えるための方法を研究するものとする。

experts and members of cultural, scientific and educational institutions.

ARTICLE 3.

Each Contracting Party will encourage the establishment and development at its universities and other educational or research institutes of courses treating any subjects concerning the culture of the other Contracting Party.

ARTICLE 4.

Each Contracting Party will accord every possible facility for the establishment and development in its territory of cultural, scientific or educational institutions of the other Contracting Party.

ARTICLE 5.

Each Contracting Party will study the measures to provide the nationals of the other Contracting Party with scholarships and other facilities in order to enable such nationals to make study and research or to acquire training in the scientific, technical and industrial institutions in its own territory.

文化的機関等の協働

第六条 両締約国は、両国の文化的、科学的及び教育的の機関の間における協力を奨励するものとする。

第六条

学位等と同等に認められるための研究

第七条 両締約国は、いずれか一方の締約国において修学中に又は修学終了の際に大学その他の教育機関から与えられる学位及び資格証書又は当該締約国において与えられるその他の資格証書が、修学上の目的のために、他方の締約国においても同等の価値を認められるための方法及び条件を研究するものとする。

第七条

運動競技等の奨励

第八条 両締約国は、両国の国民及びスポーツ団体の間における運動競技をできる限り奨励するものとする。

第八条

資料施設の利用

第九条 各締約国は、自国の領域内において、他方の締約国の国民に対し、博物館、図書館その他資料編集施設の利用について便宜を与えるものとする。

第九条

ARTICLE 6.

The Contracting Parties will encourage the cooperation between cultural, scientific and educational institutions of the two Parties.

ARTICLE 7.

The Contracting Parties will study the means and conditions with which the titles and diplomas, acquired in the course of or at the end of study at universities or other educational institutes or other diplomas obtained in one of the Contracting Parties, may be recognized as equivalent in the other Party for academic purposes.

ARTICLE 8.

The Contracting Parties will encourage, as far as possible, sports competitions between their respective nationals and sports organizations.

ARTICLE 9.

Each Contracting Party will accord in its territory, the nationals of the other Contracting Party the facilities of access to museums, libraries and other documentation

centers.

ARTICLE 10.

- 1) Each Contracting Party will encourage the tour of its nationals to the other country for their mutual understanding.
- 2) Each Contracting Party will accord every possible facility to the nationals of the other Contracting Party who will visit its territory for the purposes provided for in the present Agreement.

ARTICLE 11.

The Contracting Parties will, whenever necessary, consult with each other in order to determine the more precise conditions of the operation of the present Agreement or to assure the application of the Agreement.

ARTICLE 12.

- 1) The present Agreement shall be ratified. It shall enter into force on the date of exchange of instruments of ratification which shall take place at Tokyo.
- 2) The present Agreement shall remain in force for a period of three years and shall be automatically extended

旅行者に
対する便
宜供与

協定実施
上の協議

批准、発
効期及び
有

第十条

- (1) 各締約国は、相互の理解のため、自国の国民の相手国への旅行を奨励するものとする。
- (2) 各締約国は、この協定に定める目的のためその領域を訪問する他方の締約国の国民に対し、できる限りの便宜を与えるものとする。

第十一条

両締約国は、必要なときはいつでも、この協定の実施に関する一層具体的な条件を決定し、又はこの協定の適用を確保するため、協議するものとする。

第十二条

- (1) この協定は、批准されなければならない。この協定は、東京で行われるべき批准書の交換の日に効力を生ずる。
- (2) この協定は、三年間効力を有するものとし、いずれか一方の締約国が、この協定を終了せざる意思を、

アラブ連合 文化協定

他方の締約国に対して、それぞれの三年の期間が満了する六箇月前に通告しない限り、さらにそれぞれ三年の期間、自動的に効力を延長されるものとする。

(3) この協定は、日本語、アラビア語及び英語によるものとする。解釈の相違がある場合には、英語の本文による。

以上の証拠として、前記の全権委員は、この協定に署名調印した。

千九百五十七年三月二十日にカイロで、本書二通を作成した。

日本国政府のために

土田豊

エジプト政府のために

A・F・ハサン

for successive periods of three years each, unless either Party notifies the other six months prior to the expiration of each period of three years, of its intention to terminate the Agreement.

3) The present Agreement shall be in the Japanese, Arabic and English Languages. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

IN WITNESS WHEREOF, the aforementioned Plenipotentiaries have signed the present Agreement and have affixed hereunto their seals.

DONE in duplicate at Cairo, this twentieth day of March of the year one thousand nine hundred and fifty seven.

For the Government of Japan:

Yutaka Tsuchida

For the Government of Egypt:

A. F. Hasan

第二条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第三条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第四条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第五条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

九 (一〇)

第二条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第三条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第四条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第五条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第六条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第七条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第八条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第九条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第十条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第十一条 土田豊

一、 土田豊は、昭和十一年一月一日現在、日本国籍を有する者である。

第十二条 土田豊